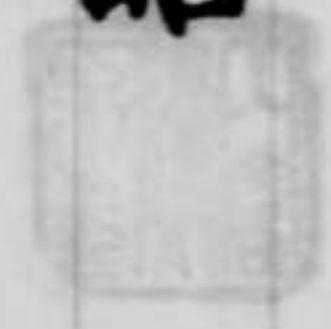




工業試験所技師平野茂外十五名  
任免官等陞叙並職務一件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年十二月十九日

内閣總理大臣小磯國昭



内

閣

めくれず

会第百八十一號  
案起  
昭和十九年十二月  
日  
閣議昭和十九年十二月十九日  
決定昭和十九年十二月十九日  
施行  
昭和十九年十二月廿日

内閣總理大臣

兼

内閣書記官長

兼

外務大臣

兼

海軍大臣

商工大臣

町田調務大臣

内務大臣

司法大臣

農商大臣

兒玉調務大臣

大藏大臣

文部大臣

軍需大臣

緒方調務大臣

陸軍大臣

厚生大臣

運輸通信大臣

工業試験所技師 平 野 茂

兼比技術院参収目

敘高寺官二等

外務省調査目 豊 出 廉

比總領事兼大使館参事目

敘高寺官二等

專賣局書記官 原 辰次郎

比專賣局理事

敘高寺官二等

神宮皇学館大学長 山 出 孝 雄

兼任文部省國史編修目



敘高等目一寺

朝鮮總督府事務目 八木信雄

任朝鮮總督府黃海道知事

敘高等目二寺

朝鮮總督府書記官 織出智

任朝鮮總督府事務目

敘高等目二寺

朝鮮總督府技師 木野崎吉郎

任京城帝國大學教授

敘高等目二寺

内閣

明治工業專門學校教授 室住熊三

任臺北帝國大學教授

敘高等目二寺

臺北帝國大學教授兼臺灣總督府技師 濱口榮次郎

兼任臺灣總督府農業試驗所技師

敘高等目二寺

判事 藤江忠二郎

農事試驗場技師 木下周太

朝鮮總督府書記官 辻桂五

朝鮮總督府追事務目 室出寅雄



仰決裁

御文ニ依リ照會相成可然致

技人第一四六六號

昭和十九年十二月五日

技術院總裁 八木 秀

内閣總理大臣 小磯 國昭 殿

左記ノ通發令方御取計相成度此段及上申候

記

工業試験所技師 平野 茂

兼任技術院參技官  
級高等官二等



19.12.6

行受

技術院

裏面白紙



昭和十九年十二月七日

高等試験委員

左記ノ者ハ本人ノ履歴書ニ依リ銓衡候處頭書ノ資格アル者ト認ム

左記

文官任用令第七條ニ依ルモ

銓衡第

一〇七三〇號技術ニ関スル技術院参技官(新任)

平野、茂

19.12.7

60

裏面白紙

裏面白紙

特許局

備考

平野茂ハ本院審査第一部長有機材料課所掌事項中途料及長漆ニ關ス  
ル發明及考案ノ審査ヲ擔任セシメ度モ本院ニ於ケル定員並工業試  
験所ノ都合ニ依リ專任ト爲シ難キニ因リ兼任セシメントスルモ  
ナリ



昭和十九年十二月十四日

大東亞大臣重光



内閣總理大臣小磯國昭殿

外務省調査官 豊田 薫

任總領事、兼大使館參事官

總領事、豊田 薫

敘高等官二等

大東亞省

上海在勤被仰付

大使館參事官 豊田 薫

中華民國在勤被仰付

右閣議ヲ請フ

上奏書用紙

規格 B-4 (製2102)



めくれず



裏面白紙

兼任理由書

在上海總領事館ハ同地大使館事務所ト事務上密接ナル關係ニアルヲ以テ其ノ圓滑ナル連絡ヲ計ラン爲前任者同様外務省調査官豊田 兼ヲ上海在勤總領事ニ任命ト同時ニ大使館參事官ニ兼任方奏請セントスルモノナリ

大東亞省

(東京1299) (日本地理圖誌 15)

新加坡  
天津  
上海  
ハ路  
今  
令  
令

閣議 二二七

館藏甲第一六八八

專賣局書記官 原辰次郎

任 專賣局理事

叙高等官二等

右閣議二提出又

昭和十九年十二月 日

大藏大臣 石渡莊太郎



内閣總理大臣小磯國昭殿

大藏省







内務省第一二八

第一六八八三

依願免本官

專賣局理事

原辰次郎

右閣議ニ提出ス

昭和十九年十二月 日

大藏大臣 石渡莊太郎



内閣總理大臣小磯國昭殿

大藏省





退官願

小官儀

一身上、都合ニ依リ退官致度矣  
間御聽許相成度此致及御願  
候也

昭和十九年十二月 日

專賣局理事 原 辰次郎

内閣総理大臣小磯國昭殿

共同生草株式会社  
取締役 原 辰次郎

内閣大臣 一〇九

神宮皇學館大學長 山田 孝雄

兼任文部省國史編修官

紋高等官一等

右御執奏ヲ請フ

昭和十九年 三月 廿日

文部大臣 二宮 治重



内閣總理大臣 小磯 國昭 殿

文部

省 19.12.15 付 68

現下

裏面白紙



寫

文 部 省

昭和十九年十二月二日

高等試験委員 印

左記ノ者ハ本人ノ履歴書ニ依リ銓衡候處頭書ノ資格ヲ  
ル者ト認ム

左 記

文官任用令第七條ニ依ルモノ

銓衡第一八三二號

文部省國史編修官(勅任)

山 田

孝

雄

裏面白紙

文 部 省

兼任理由

同人ハ現代ニ於ケル國學ノ最高權威者ニシテ國史ニモ其ノ學識頗ル  
深ク皇國史觀ニ透徹セル稀ニ見ル碩學ナリ國家業務タル修史ノ衝ニ  
當ル中核タル地位ニハ最適任者ニシテ他ニ適當ノ人物無キニ依リ同  
人ヲ兼任セシメ國史編修ニ關スル全般的事務ニ従事セシメ度ニ由ル

裏面白紙



一一三三

乙第 六二二號

昭和十九年十二月 十六日

内務大臣 大 達 茂 雄



内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

朝鮮總督府事務官 八 木 信 雄

任朝鮮總督府黃海道知事

敘高等官二等

朝鮮總督府書記官 織 田 智

内 務 省

任朝鮮總督府事務官

敘高等官二等

右閣議ヲ請フ

追而本件別途美根五郎退官ト同時ニ發令方御取計相成度

昭和十九年十二月廿一日



一一一五

乙第六〇八號

昭和十九年十二月十五日

内務大臣 大 達 茂



内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

朝鮮總督府技師 木 野 崎 吉 郎

任京城帝國大學教授 齋 藤 謙 督 府 技 師

敘高等官二等

右閣議ヲ請フ

内 務 省



72

めくれず



裏面白紙

内務省

寫

左記本人ノ履歷書ニ依リ銓衡候處頭書相當ノ資格アル者ト認ム

昭和十九年十二月十四日

高等試験委員

記

文官任用令第七條ニ依ルモノ

銓衡第一八五八二號

鑛物地質學擔任ノ京城帝國大學教授(勅任)

木野崎

吉郎





内閣人閣議第一三九號

乙第六一三號

昭和十九年十二月十七日

内務大臣 大 澤 茂



内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

明治工業專門學校教授 室 住 熊 三

任臺北帝國大學教授

敘高等官二等

右閣議ヲ請フ

内 務 省

昭和十九年十二月十七日

1213 付受 75

裏面白紙

寫

左記本人ノ履歷書ニ依リ銓衡候處頭書相當ノ資格アル者ト認ム

内務省

昭和十九年十二月十四日

高等試験委員

記

文官任用令第七條ニ依ルモノ

銓衡第一八五八一號

電氣工業擔任ノ臺北帝國大學教授(勅任)

室住 熊三





二二四

乙第六〇七號

昭和十九年十二月十五日

内務大臣 大 運 茂



内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

臺北帝國大學教授兼臺灣總督府技師 濱 口 榮次郎

兼任臺灣總督府農業試驗所技師

敘高等官二等

右閣議ヲ請フ

内務省

19.12.16 付受



裏面白紙

寫

左記本人ノ履歷書ニ依リ銓衡候處頭書相當ノ資格アル者ト認ム

内務省

昭和十九年十二月十四日

高等試験委員

記

文官任用令第七條ニ依ルモノ

銓衡第一八五八〇號

臺灣總督府農業試験所技師(勅任) 濱口 榮次郎

裏面白紙

濱田 榮次郎 兼任理由書

臺灣總督府農業試驗所ニ於ケル農産品ノ加工竝利用ニ關スル試驗研究ハ近時次第ニ重要性ヲ加ヘツツアルニ鑑ミ本事務ニ造詣深ク此方面ノ權威者タル本名ヲ臺灣總督府農業試驗所技師ニ兼任セシメ以テ之レカ試驗研究ノ完遂ヲ期スル要アルニ因ル

臺灣總督府

(日本標準規格 B. 5) 表・裏 1137



内閣 一一一三

昭和十九年十二月廿八日  
十二月二十八日附

判事 藤江 忠二郎

陸絛高等官二等

右及請議候也

昭和十九年十二月十五日

司法大臣 松阪 廣政



内閣總理大臣 小磯 國昭 殿

司法省

手  
本  
八  
平  
野  
文

大日本帝國政府

高等官三等	現官等	官等	經過年月	調	職	官名	氏名
昭和八三一	其ノ日附	經	過	年	月	調	
十一年九月	補	職	現	職	官名	氏名	
判金澤所地方長	部東京控訴院長	判事	蘇江忠二郎				

字部官 信 大官部 三三三	↑	小泉英一 地方長	↑	部東京控訴院長 長院	判事	蘇江忠二郎
------------------------	---	-------------	---	---------------	----	-------

(國定規格5(六三×三三七紙))

めくれず

裏面白紙





秘農第七四〇號

農商 二一九

陸技高等官二等

農事試驗場技師 木下周太

前書ノ通官等陸技ノ表被仰出度此段閣議ヲ請フ

昭和十九年十二月十五日

農商大臣 島田俊



内閣總理大臣 小磯國昭殿

農商

19.12.16

83

裏面白紙

裏面白紙

農林省

奏任文官優遇理由書

(一) 優遇令適用條文  
本人ノ職務

農事試験場技師 木下 周 太  
第二條  
昆蟲部主任官

同上在職年數

廿二年四ヶ月

(二) 在職年數

廿五年三ヶ月

(三) 高等官三等在職年數

十五年四月

(四) 優遇理由

查四年十月東京帝國大學理學部昆蟲學科主任シテ專ラハ作物ノ害蟲ニ關スル研究ニ力ヲ注シ、  
要ニシテ昆蟲ノ生活ニ關スル研究ニ力ヲ注シ、  
生ニシテ昆蟲ノ生活ニ關スル研究ニ力ヲ注シ、  
事ニシテ昆蟲ノ生活ニ關スル研究ニ力ヲ注シ、  
邦ニシテ昆蟲ノ生活ニ關スル研究ニ力ヲ注シ、  
ノニシテ昆蟲ノ生活ニ關スル研究ニ力ヲ注シ、  
返ニシテ昆蟲ノ生活ニ關スル研究ニ力ヲ注シ、  
之等ノ功績ニ鑑ミ





秘農第七四〇號

内務  
1130

依願免本官

前書ノ通免官ノ義被仰出度此段閣議ヲ請フ

昭和十九年十二月十五日

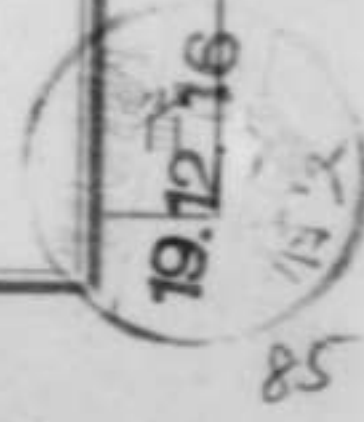
農商大臣 島田 俊



内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

昭和十九年十二月十五日

農 商



農學試驗場技師 木 下 周 太

裏面白紙

めくれず

裏面白紙

辞職願

今般一身上、都合ニ依リ小官儀辞職致  
度候条御許可相成度此般及御  
願候也

昭和十九年十二月 日

農事試験場技師 木下周太

内閣總理大臣小磯國昭殿

勇退





乙第ニ六〇九號

一一三四

昭和十九年十二月廿一日

19.12.16  
付

87

乙第ニ六〇九號

昭和十九年十二月十六日

内務大臣 大 達 茂 雄



内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

朝鮮總督府書記官 辻 桂 五

朝鮮總督府道事務官 室 田 寅 雄

同 鳥 山 進

陸絛高等官二等

内務省

右閣議ヲ請フ

追而本件別途八木信雄外壹名仕絛卜同時ニ發令方備取計相成度

大正十五年  
大正十六年  
大正十七年  
大正十八年  
大正十九年  
昭和元年  
昭和二年  
昭和三年  
昭和四年  
昭和五年  
昭和六年  
昭和七年  
昭和八年  
昭和九年  
昭和十年  
昭和十一年  
昭和十二年  
昭和十三年  
昭和十四年  
昭和十五年  
昭和十六年  
昭和十七年  
昭和十八年  
昭和十九年  
昭和二十年  
昭和二十一年  
昭和二十二年  
昭和二十三年  
昭和二十四年  
昭和二十五年  
昭和二十六年  
昭和二十七年  
昭和二十八年  
昭和二十九年  
昭和三十年  
昭和三十一年  
昭和三十二年  
昭和三十三年  
昭和三十四年  
昭和三十五年  
昭和三十六年  
昭和三十七年  
昭和三十八年  
昭和三十九年  
昭和四十年  
昭和四十一年  
昭和四十二年  
昭和四十三年  
昭和四十四年  
昭和四十五年  
昭和四十六年  
昭和四十七年  
昭和四十八年  
昭和四十九年  
昭和五十年  
昭和五十一年  
昭和五十二年  
昭和五十三年  
昭和五十四年  
昭和五十五年  
昭和五十六年  
昭和五十七年  
昭和五十八年  
昭和五十九年  
昭和六十年  
昭和六十一年  
昭和六十二年  
昭和六十三年  
昭和六十四年  
昭和六十五年  
昭和六十六年  
昭和六十七年  
昭和六十八年  
昭和六十九年  
昭和七十年  
昭和七十一年  
昭和七十二年  
昭和七十三年  
昭和七十四年  
昭和七十五年  
昭和七十六年  
昭和七十七年  
昭和七十八年  
昭和七十九年  
昭和八十年  
昭和八十一年  
昭和八十二年  
昭和八十三年  
昭和八十四年  
昭和八十五年  
昭和八十六年  
昭和八十七年  
昭和八十八年  
昭和八十九年  
昭和九十年  
昭和九十一年  
昭和九十二年  
昭和九十三年  
昭和九十四年  
昭和九十五年  
昭和九十六年  
昭和九十七年  
昭和九十八年  
昭和九十九年  
昭和百年

めくれず

裏面白紙

朝鮮總督府

奏任文官優遇理由書

朝鮮總督府書記官 辻 桂 五

(一) 適用條文	第一條
(二) 現官職 (ロ) (イ) 同上在職年數	朝鮮總督府財務局理財課長 三年七月
(三) 總在職年數 (ロ) (イ) 三等在職年數	十七年八月 五年二月
(四) 優遇事由	同人ハ昭和四年十二月朝鮮總督府道理事官トナリ江原道學務課長、咸鏡北道地方課長ヲ經テ朝鮮總督府稅務監督局事務官トナリ經理部長、稅務部長ヲ勤メ昭和十三年四月朝鮮總督府事務官トナリ外務部稅務課長ヲ經テ昭和十六年五月現在ノ財務局理財課長ヲ命ゼラレタルモノニシテ其ノ間重要ナル職務ニ當リ功績洵ニ顯著ナルモノニ付優遇セントスルモノナリ

京城(谷岡勲)



めくれず

裏面白紙

奏任文官優遇理由書

朝鮮總督府道事務官 室 田 寅 雄

(一) 適用條文	(二) 現官職	(三) 總任職年數	(四) 優遇事由
第一條	朝鮮總督府慶尙南道內務部長 二月	十三平五月 高等官 三等在職年數 五年二月	向人ハ昭和六年一月東長官秘書官トナリ同七年八月朝鮮總督府事務官トナリ文書課審議室勤務同十一年五月朝鮮總督府道事務官全羅北道警務部長ヲ勤メ十二年四月朝鮮總督府事務官、再ビ朝鮮總督府道事務官トナリ忠清南道內務部長同十六年五月朝鮮總督府稅務監督局長、同十九年三月朝鮮總督府事務官、同年十一月朝鮮總督府道事務官慶尙南道內務部長トナリタルモノニシテ其ノ重要ナル職務ニ當リ功績洵ニ顯著ナルモノニ付優遇セントスルモノナリ

京城(春四納)

めくれず

裏面白紙

奏任文官優遇理由書

朝鮮總督府道事務官 鳥山 進

(一) 適用條文	(二) 現官職	(三) 同上在職年數	(四) 優遇事由
第一條	朝鮮總督府京畿道內務部長	二十二年八月	<p>向人ハ昭和四年十二月朝鮮總督府道小作官トナリ同八年一月朝鮮總督府道事務官トナリ慶北學務課長、地方課長ヲ經テ朝鮮總督府稅務監督局事務官トナリ經理部長、稅務部長ヲ勅メ昭和十二年七月朝鮮總督府道事務官トナリ忠清南道成鏡南道、全羅南道、慶尙北道ノ各道部長全羅南道內務部長ヲ歷任シ昭和十八年十二月一日京畿道農商部長トナリ本年十一月京畿道內務部長トナリタルモノニシテ其ノ間重要ナル職務ニ當リ功績洵ニ顯著ナルモノニ付優遇トントスルモノナリ</p>
		十六年八月 五年二月	

京畿(谷田郡)





五  
三

乙第六一〇號

昭和十九年十二月十六日

内務大臣 大達 茂雄



内閣總理大臣 小磯 國昭 殿

朝鮮總督府 黃海道知事 美根 五郎

陸軍高等官一等

右閣議ヲ請フ

追而本件同人退官前ニ發令方俛取計相成度

内務省

19.12.16  
92

附不備先  
ニ不備進  
ニ第一頁





11111

乙第六一一號

昭和十九年十二月十六日

内務大臣 大 達 茂 雄



内閣總理大臣 小 磯 國 昭 殿

朝鮮總督府黃海道知事 美 根 五 郎

ニ不  
照不  
裝作  
シ

依願免本官

右閣議ヲ請フ

内 務 省

昭和十九年十二月十六日



94



退官願

今般一身上、都合依り退官  
致度、付御聽許相成度此段  
奉願候也

小官儀

昭和十九年十月十七日

朝鮮總督府黃海道知事

美根五郎



内閣總理大臣小磯國昭殿



總領事佐藤敏人

ケニヒスベルグ<sup>1</sup>在勤被免

右之通被仰出候様致度此段附議  
ヲ請フ

昭和十九年十二月十五日

外務大臣 重光 葵



外務省

三等

持在友ノ  
本係書一

異動表

官職名	現任	新任
黄海道知事 <small>本府事務官 警務局保安課長</small>	美根五郎	八木信雄
本府事務官 <small>警務局保安課長</small>	八木信雄	磯崎廣行 <small>保安課長兼 警務課長</small>
本府事務官	八木信雄	織田智
道事務官 <small>慶南鐵工部長 逓信事務官</small>	柱 玳淳 李家玄載	李家玄載 森山辰雄 新任
交通局書記官 本府事務官	缺員 豊川文夫	豊川文夫 石島康一
官職名 成南道理事官 忠南道理事官	現任 石島康一 早田利夫	新任 早田利夫 吉田幾雄 新任
成北參與官 <small>兼道事務官</small> 慶北郡守	缺員 柳時煥	柳時煥 宮本博正 新任

朝鮮總督府

第... (小字)





大日本帝國政府

一九二〇年十二月十三號

昭和十九年十二月十日

軍需大臣官

内閣書記官長 殿



十二月八日附内閣人閣第一〇八一號照會工業試驗所技師平野彦二兼任  
技術院參技官ノ件差支無之此段回答ス



裏面白紙



秘 録 第 七 四 〇 號

昭 和 十 九 年 十 二 月 十 五 日

農 商 大 臣 官 房 祕 書 長

內 閣 官 房 人 事 課 長 殿



農 商 大 臣 官 房 祕 書 長

右者大正八年五月公立實業專門學校教授ニ任セラレ同十一年四月退職  
 同年八月<sup>再</sup>農事試験場技師ニ任官シ前後通シテ二十五年餘重要ノ職ニ當  
 リ功績顯著ナルモノニ有之今般勇退致度退官願出候ニ付多年ノ功績ニ  
 對シ特ニ昭和十八年勅令第一三七號各職職員優遇令ニ依リ勅任官ニ昇  
 格セシメ度義ニ候條御詮議相成候様御取計相煩度此段及御依頼候也

裏面白紙



めくれず

裏面白紙

司法省人補第三五六二號請議書 壹 件  
右及送付候也

昭和十九年十二月十五日

司法大臣

公 販 廣 政



内閣總理大臣

小 磯 國 昭 殿

判事藤江忠二郎陸等之件

十二月九日 内閣議中上程  
十二月二十五日 附御發令方  
御執成相仰平度候

司 法 省

100

12.15 付受

外務省

昭和十九年十二月十五日

外務大臣 重光



内閣總理大臣 小磯 國昭 啟

佐藤 敏人 職務  
ノ件別紙之  
通及進達候也

外務省

19.12.15

101



仰決裁

樹文彦様 謹言 成可然哉

技人第一四六六號

昭和十九年十二月五日

技術院總務官房秘書課長



内閣官房人事課長

殿

左記ノ者ニ對シ頭書ノ進呈等試験委員ノ銜衡方御取計相成度此段及御依頼候

記

技術ニ關スル技術院掌技員 平野 茂

(私注)

内閣人第一八〇號

十二月三十日

特許

局

19.12.6

付受

102

日本標準規格 B5(182×207mm) 縦横納

私注

裏面白紙